

- 株式会社S&Kみやこ島は、宮古島市内で発生する下水汚泥と剪定枝を混合した汚泥肥料「かんとりースーパー宮古島」を製造。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称

- ・下水汚泥
- ・剪定枝

- ・汚泥肥料
(かんとりースーパー宮古島)

■作物

- ・マンゴー、かぼ
ちや、さとうきび、
葉たばこ等

■主成分の含有量(%)・特徴等

N	P	K	C/N
2.9%	3.0%	0.58%	6.0



かんとりースーパー宮古島

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・沖縄本島から南西に300kmの位置にある宮古島は、大きな河川等がなく、飲み水・生活用水から農業用水までを地下水に頼っていることから、地下水が汚染されると利用できなくなる可能性がある。そのため、島内では限られた有機物である廃棄物も有効に利用すべく、市浄化センターから排出される下水汚泥の堆肥化を開始。

取組の内容

- ・下水汚泥は令和5年度実績として1,674t/年を受入れ。
- ・微生物を活用し、90℃以上まで発酵温度が上がる超高温好気性発酵により汚泥肥料「かんとりースーパー宮古島」を製造。
- ・汚泥肥料の一般資材店等での販売はしておらず、指定管理を受けている資源リサイクルセンターでの直販のみ。
- ・重金属の含有量は毎年検査を行い、安全性を確認。

成果（見込み）

- ・肥料利用農家からは、樹勢の回復が早く実の肥大が良好であることを確認。地域農家向けに勉強会を実施しており、今後は地域農家の利用拡大を目指す。

■今後の課題・取組

- ・農家からペレット化の要望があるため、施設所有者である市とペレット化に向けての調整
- ・菌体りん酸肥料登録を検討
- ・下水汚泥肥料の理解醸成及び利用促進